

100 農地・森林等の放射性物質の除去・低減技術の開発

【復旧・復興対策分191百万円】
【うち復興庁計上分191百万円】

対策のポイント

高濃度汚染地域での安全・効率的な土壌除染、汚染土壌の減容・処分、森林からの放射性物質拡散防止、汚染作物等の減容・安定化技術を開発します。

<背景/課題>

- ・食と農林漁業の再生推進本部で決定された「我が国の食と農林漁業の再生のための基本方針・行動計画」において、政府は一丸となって、原子力災害対策に正面から取り組んでいくこととされています。
- ・福島第一原子力発電所事故の発生を受け、被曝が懸念される高濃度汚染地域での土壌除染作業方法や除染作業により生じる汚染土壌の減容・処分方法を開発する必要があります。
- ・被災地での営農・生活の再開のためには、農地・集落に隣接する森林からの放射性物質の拡散防止が必要です。
- ・汚染された作物や雑草等については、安全かつ効率的に保管するための減容・安定化が求められており、これらに必要な技術開発を行う必要があります。

政策目標

農地、森林等の除染技術等を開発することにより、被災地での営農・生活の早期再開に貢献。

<主な内容>

1. 高濃度汚染地域における土壌除染技術体系の構築・実証
土壌除染作業を安全かつ効率的に実施するための技術体系の構築・実証・作業マニュアルの作成を行います。また、土壌除染作業を効率的に行うための土壌調査手法の検討（地形・標高・土質等と放射性物質の蓄積状況の関係性の調査・検討）を行います。
2. 高濃度汚染土壌の現場における処分技術の開発
除染事業によって生じた大量の汚染土を効率的に処分するため、汚染土壌の減容・処分技術の開発・実証、放射性物質の高吸収植物の更なる探索等、化学的・生物学的除染手法の高度化を行います。
3. 森林から流出する水等に含まれる放射性物質の挙動の解明
森林から農地・集落への放射性物質の拡散を防止することができるよう、森林から流出する水等に含まれる放射性物質の挙動分析と影響評価を行います。
4. 放射性物質を含む作物等の安全な減容・安定化技術の開発
放射性物質で汚染された雑草、落葉、枝等様々な作物等を安全かつ効率的に保管するため、その特性に応じて、ペレット化やチップ化等を行う技術を確立します。

（ 補助率：定額
事業実施主体：民間団体等 ）

（ お問い合わせ先：
1・2の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官（食料戦略）
（03-6744-2214（直））
3・4の事業 農林水産技術会議事務局研究開発官（環境）
（03-6744-2216（直）） ）

農地・森林等の放射性物質の除去・低減技術の開発

背景

「科学技術戦略推進費」を活用し、農地土壌等における放射性物質除去技術の開発を緊急に実施。限られた期間で得られた成果は、土壌の除染事業等に活用。



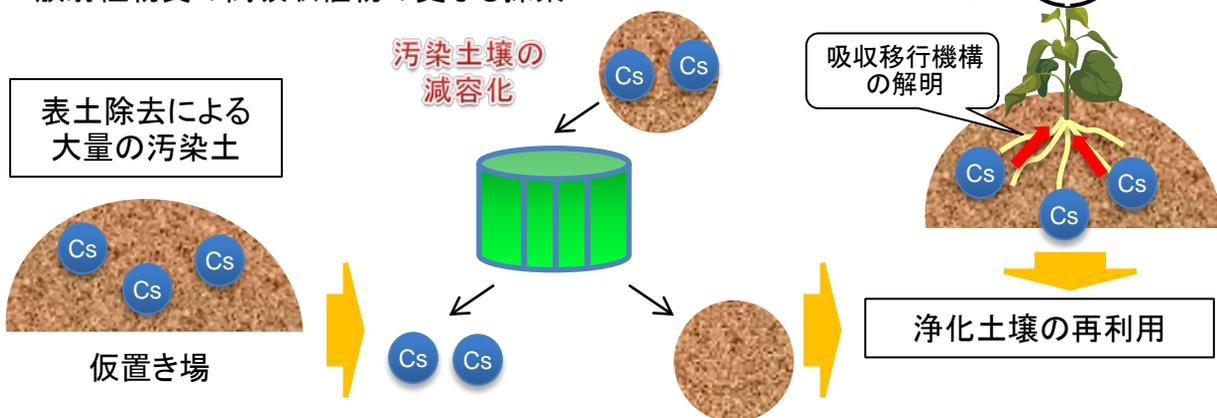
被災地での営農・生活を早期に可能とするためには、総合的に技術開発を実施することが必要。

研究内容

- 高濃度汚染地域における土壌除染技術体系の構築・実証
 - ・土壌除染作業を安全かつ効率的に行うための技術体系の構築・実証・作業マニュアル作成
 - ・除染事業の効率化のための土壌調査手法の検討



- 高濃度汚染土壌の現場における処分技術の開発
 - ・汚染土壌の減容・処分技術の開発・実証
 - ・放射性物質の高吸収植物の更なる探索



- 森林から流出する水等に含まれる放射性物質の挙動の解明
 - ・森林から流出する水等に含まれる放射性物質の挙動分析と影響評価



- 放射性物質を含む作物等の安全な減容・安定化技術の開発
 - ・植物残さ、雑草、落葉等を安全にペレット化、チップ化等を行う技術の開発

期待される成果

農地、森林等の除染技術等を開発することにより、被災地での営農・生活の早期再開に貢献。